



みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

毎月2週目
4週目頃
発行予定

Vol.346
12月-1号

令和6年12月発行

教育長メッセージ…P2掲載

令和6年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展

10月19日（土）、20日（日）に一般公開を実施しました！



全県から出品された科学論文と科学工夫作品、教職員による自作教具の全667点を展示して、一般公開を実施しました。

2日間合わせて2,033名もの多くの方に、優れた作品や論文、自作教具を見ていただくことができました。自分の作品を、得意そうに家族に紹介したり、展示されている作品を熱心に見たりしている子供たちの姿は微笑ましいものでした。

また、工夫を凝らした作品や詳しく調査された論文を見て、「すごい！」と多くの大人の方々が感嘆する様子がとても印象的でした。



一般公開に御協力いただいた関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

11月8日（金）に表彰式を実施しました！

特別賞や優秀賞に輝いた児童、生徒及び教職員を対象に表彰式を実施しました。

表彰式に参加した児童、生徒及び教職員は、緊張した面持ちでしたが、賞状やトロフィー、楯を受け取る際には嬉しそうな笑顔が見られました。審査員長の講評では、自分の力で考え、考えたことを形にする経験の価値についてお話がありました。次年度も多くの児童、生徒及び教職員の学びとなる科学作品展になることを願っています。

また、特別賞や優秀賞を受賞した作品は全国展*に出品されます。

*全国展は、「全国児童才能開発コンテスト科学部門」「日本学生科学賞」「全日本学生児童発明くふう展」の3つを指します。



上の2次元コードを読み取ると、「受賞者一覧」を見ることができます。

<問合せ先>
千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部科学技術教育班
(千葉県児童生徒・教職員科学作品展実行委員会事務局)
Tel:043-276-1184



インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
令和6年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展	1
インデックス&ミニ・トピックス、教育長コラム	2
第62回千葉県高等学校 定時制通信制総合文化大会	3
千葉県総合教育センター・千葉県子どもと親の サポートセンター 令和6年度研究発表会	4
子どもと親のサポートセンターより	5
県内学校ミニ・ニュース (松戸市立ハケ崎小学校)	6
イベント情報 (生涯学習課・文化振興課・競技スポーツ振興課) 国や県からの情報	別冊

ウクライナ出身 オルガさん講演会
『The Loss Of Peace』
～国際関係問題や異文化の中での生活について～
(県立鎌ヶ谷高等学校)

県立鎌ヶ谷高等学校では、言語や生活習慣等の相違を超えた心のふれあいをとおして、国際社会に貢献できる人材の育成を図ることを目的とし、11月14日(木)に鎌ヶ谷市職員として活躍されているウクライナ出身のオルガさんを講師としてお招きし、人権教育について講演をしていただきました。

当日は約1,000人の前で講演が行われました。生徒からは「戦争は絶対にあってはならない」と平和を願う、強い決意が感想として述べられました。



身振り手振りを交え、生徒に熱く語るオルガさん



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



7月に全県立学校に依頼した「あなたの声を聴かせてくださいキャンペーン」では、生徒達から「先生の言動で嬉しかったこと、悲しかったこと」が寄せられました。現在、結果を整理・確認中ですが、回答の多くは「嬉しかったこと」で、例えば「信じてるって言われてこんな自分を信じてくれる人がいると思うと泣きそうになった」「担任の先生にどんなことを話しかけても笑顔で接してくれる」などの声が聴かれました。一方、「悲しかったこと」の中には、部活動中の「お前だけ全然成長してない」「へたくそ」などと言われたという言葉がありました。また、「教員と生徒という関係以上に、一人の人間としてお互いを尊重すること」との提言もありました。今後、教員側の声も聴き、両者の間の思いのすれ違いなどに気付くことで、誰かが傷つくことのない学校にしていきたいと思えます。

第62回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会

県内の定時制・通信制高等学校の生徒による文化の祭典！

10月20日（日）に、第62回千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会が、佐倉市の協力のもと、佐倉ハーモニーホール、佐倉市臼井公民館及び佐倉南高等学校で開催されました。

生活体験発表の部

生活体験発表とは、定時制・通信制の課程で学ぶ生徒が高校生活の中で感じたこと考えたことを文章にして発表する営みで、今年度は15校の学校代表者が想いを込めて発表しました。



金賞 館山総合高校 服部 咲弥香さん

金賞を受賞した館山総合高校の服部咲弥香さんは、11月17日（日）に、東京都で行われた全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に出場し「奨励賞」を受賞しました。

音楽の部（金賞） 松戸南高校



作品展示の部（金賞）

書道の部 佐倉南高校 尾高 詩音さん（右端）
絵画の部 松戸南高校 須澤 優希さん（左端）
工芸の部 松戸南高校 廣田 紗雪さん（中央右）
写真の部 千葉商業高校 清宮 さくらさん（中央下）
被服・手芸の部 松戸南高校 鈴木 優理さん（中央上）



お問い合わせ先：千葉県教育庁 教育振興部 学習指導課 電話 043（223）4060

令和6年度 研究発表会

要申込

千葉の子どもたちの未来のために ～変化する時代に求められる資質・能力の育成をめざして～

対面 先着165名	2025 2.26 水	オンデマンド 先着1000名	2025 3.10 月 ▶ 3.21 金
	会場：千葉県総合教育センター 大ホール ※全体講演または研究発表のみの参加も可能		2025 2.25 火 ▶ 3.21 金

対面参加時の日程

9:25	9:45	10:00	12:00	13:35	16:30
受付	連絡	全体講演（開閉会行事を含む）	休憩	研究発表（開閉会行事を含む）	

全体講演

演題 「心を育てる」

講師 小倉 全由 氏

U-18 野球日本代表監督
(前 日本大学第三高等学校 野球部監督)



研究発表

01 カリキュラム開発部 生きる力を育てる道徳科授業づくりに関する研究	02 カリキュラム開発部 小学校における自由研究（科学論文）の手引き作成に係る研究
03 カリキュラム開発部 既存の教科と教科「理数」の相互発展に関する研究	04 学力調査部 全国学力・学習状況調査の活用推進に向けて
05 特別支援教育部 特別支援教育における主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究 ～自立活動の視点に着目して～	06 子どもと親のサポートセンター 不登校の子ども達の心身変化を的確に捉えた支援の在り方 ～子どもと親のサポートセンターの実践からみえてくるもの～

◆申込期間◆

令和6年12月10日（火）～ 令和7年1月24日（金） ※オンデマンドは令和7年3月21日（金）迄

◆申込方法◆

下記リンクまたは二次元コードから御申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=36560

◆問合せ先◆

千葉県総合教育センター 〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13

☎ 043-276-1274（担当部直通） 📧 sosecurri_kenkyu@mz.pref.chiba.lg.jp



チーバくん

ちばSDGs

子どもと親のサポートセンターより

相談窓口について ※各相談体制強化月間

◆SNS相談 ※令和7年1月4日～1月11日は毎日相談実施中!

面と向かっては相談できないこと、思い悩んでいることがあれば、お気軽に相談してください。専門のカウンセラーが、みなさんの悩みに応えます。

◇実施日 毎週火曜日・木曜日・日曜日 18時から22時まで

◇相談方法 右の二次元コードでLINEアプリを読み取り、友だち追加してメッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。

SNS相談 二次元コード



◆ワンストップ・オンライン相談

本年度より、Zoomを使った新たな相談窓口を開設しました。

◇相談時間 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで

◇申込方法 右の二次元コード又は下記 URL より Web 予約受付可
当日予約も可

ワンストップ・オンライン相談

二次元コード



◇ホームページのURL : https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online

※保護者の方、学校の先生方のご相談も受け付けています。

◆電話相談

24時間対応をしています。学校生活に関すること、心や身体のこと、その他の心配事などお気軽にご相談ください。

◇電話番号 0120-415-446

いつでも、ご相談ください♪



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター こさぼん

◆Eメール相談

◇宛先 saposoudan@chiba-c.ed.jp

◇件名は必ず「相談」としてください。件名がない場合お返事ができないこともあります。

◇迷惑メール対策等の設定をされている方は、上記のアドレスからメールが受信できるように、メールの設定をご確認ください。

◇サポートセンターからの返信は、数日かかることがあります。

校内研修・自主研修動画配信について（教職員の皆様へ）

本年度実施しました、「教育相談基礎研修」の一部を当センターホームページにオンデマンド配信として掲載しています。教育相談に関する基礎的知識・技術を学び、教員としての資質を高めるため、自主研修や校内研修でぜひ御視聴ください。

視聴方法・ログインID・パスワード等は、令和6年7月23日付の文書、子親セ第194号で御確認ください。

ホームページ URL <https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>

県内学校ミニ・ニュース

(松戸市立八ヶ崎小学校)

○八ヶ崎小について

学校教育目標「**自ら学ぶ子 たくましい子 思いやりのある子**」

本校の学区は、東をJR武蔵野線、西を国道6号線に囲まれています。南東には、21世紀の森と広場があり、施設内の公園、市立博物館、森のホール21など、自然、歴史、文化に触れる機会に恵まれた環境にあり、本校の教育活動においても大いに活用しております。

【校長：横山潤子 教頭：幸口英 教職員数：52名 児童数：642名】



○八ヶ崎小の体育

本校は、これまで49年間体育研究を続けております。昨年度は松戸市教育委員会からの研究指定に加え、千葉県学校体育研究大会において授業展開と研究発表を行いました。そして、これまでの研究の成果が認められ、「第62回全国学校体育研究大会」において、「全国学校体育研究優良校」として表彰を受けました。今年度も松戸市教育委員会から研究指定校に委嘱していただいております。また先日、「千葉県教育功労者 学校教育の部 団体の部」にて表彰を受けることができました。

○生き生きとした体育学習の展開はどのようにしたらよいか(研究主題)

体育研究を始めて以来ずっと、本校は「生き生きとした体育学習」の展開を追究し、授業研究を重ねております。「生き生きとした体育学習」の展開の先には、「生き生きとした児童の姿」があります。副題を「主体的・協働的に運動に親しむ児童の育成」とし、今年度からは体づくり運動系を研究領域として研究を進めております。体づくり運動系は既存の型がある運動とは異なり、教材を開発するところからスタートです。4月より、体当たりで授業実践を重ねる日々を送っております。

7月・10月 校内授業研究会

業間体育



8月 体育科実技研修会



八ヶ崎小の体育

本校ホームページにH30以降の「学習指導案」「学習カード」「体育科年間指導計画」「八ヶ崎小の体育の指導書」を掲載しております。様々な機会の折、ご活用いただけたら幸いです。

